

第2編



基本構想



# 第2編 基本構想

## 1 那須町の将来像

第1編では、本町の現状や社会情勢、町民意識調査の結果、そして前計画の振り返りを検討してきました。本町では近年、人口減少、特に年少人口の減少が目立っています。これは全国的な課題でもあります。さらに、社会インフラの老朽化、エネルギーや食料の安定供給、激甚化・頻発化する自然災害、変動する国際情勢への対応など、様々な課題が浮き彫りになっています。

今後のまちづくりでは、本町の強みを最大限に活かし、町民の希望を実現し、つながりを広げ、にぎわいのあるまちを目指します。そのためには、行政だけでなく、町民や多様な主体が一体となって取り組むことが不可欠です。

以上の内容を踏まえ、行政と多様な主体が一丸となってまちづくりに取り組むための目標として、本町が目指すべき将来の姿を以下のとおり設定します。

### 〔那須町の将来像〕



将来像「みどり輝き 活気と笑顔あふれ とともに未来を創るまち 那須」を実現するためには、本町の財産でもある自然を守りつつ、活用をしていくこと、次世代を担う子どもたちが健やかに成長できること、日々の暮らしの安全を守り、安心につなげていくことなどが大切です。

この将来像を共有し、まちづくりを進めるために、4つの視点ごとに目指す町の姿を示します。

### ▶【自然環境を大切にしていること】

本町は茶臼岳を中心とする那須連山や八溝山系の山並みに囲まれ、四季折々の美しい自然を楽しむことができます。春の新緑、夏の避暑地としての涼しさ、秋の紅葉、冬の雪景色は観光客や町民をはじめ、多くの人々に愛されています。自然を大切にし、活用を図り「みどりが輝いている」ことを実感できるまちを目指します。

### ▶【活気にあふれていること】

本町には様々な産業があります。特に柱となる観光業は、美しい景観や温泉、牧場といった自然の魅力が、観光客を引き寄せ、町ににぎわいや活気をもたらす原動力です。

町民だけでなく、観光やビジネスで訪れる人、移住者や二地域居住者、町内の企業や団体など様々な主体が活発に交流し、より良いまちづくりのため常に新しいことに挑戦する社会的・経済的に「にぎやかで活気のある」まちを目指します。

### ▶【笑顔があふれていること】

本町が持つ豊かな自然環境のなか、子どもたちがのびのび育ち、学校と地域が一体となって子育て支援に取り組むことで、子どもから大人まで「笑顔があふれ、楽しく子育てができる」まちを目指します。

また、全ての世代の人と人があふれあい交流し、地域や社会での役割を持つことで、「いきいきと笑顔で暮らせる」まちを目指します。

### ▶【ともに未来を創造していくこと】

少子高齢化や人口減少、社会環境の急速な変化が進む中、那須町が持続的に発展していくためには、行政だけでなく、町民一人一人、地域団体、事業者、関係機関など、多様な主体がそれぞれの役割を担い、力を合わせてまちづくりを進めていくことが不可欠です。

本町では、世代や立場、価値観の違いを尊重しながら、町民が主体的に参画し、対話と協働を通じて課題の解決や新たな価値の創出に取り組むまちづくりを目指します。子どもから高齢者まで、また移住者や関係人口を含め、誰もが「那須町の一員」としてまちへの誇りと愛着を持ち、未来への希望を共有できる環境を整えることで、次代へと受け継がれる持続可能なまちを、町民と「ともに未来を創る」まちを目指します。

## 2 目標人口

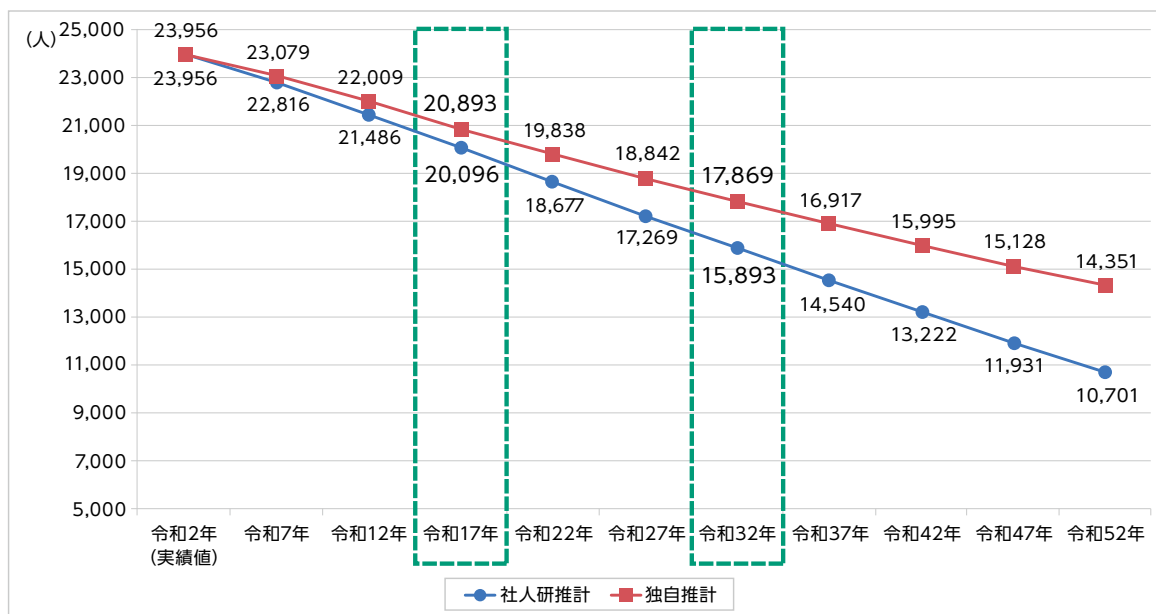
### [将来人口の推計]

令和2年国勢調査の確定数を出発点とした国立社会保障・人口問題研究所(以下、「社人研」という。)の推計では、令和17年の人口は20,096人と推計されており、少子高齢の傾向が一層進展すると予測されています。

このため、本計画において、若年層の転出抑制や流入の促進、子育て層を中心とした暮らしやすい環境づくりなどに積極的に取り組み、でき得る限り人口減少傾向の抑制に努めていくものとします。

この方針に基づき、このほど見直しを行った那須町人口ビジョンにおいては、令和17年に20,893人、令和32年に17,869人として、将来人口を推計しています。

図 将来人口推計比較



出典：那須町人口ビジョンより町事務局において作成

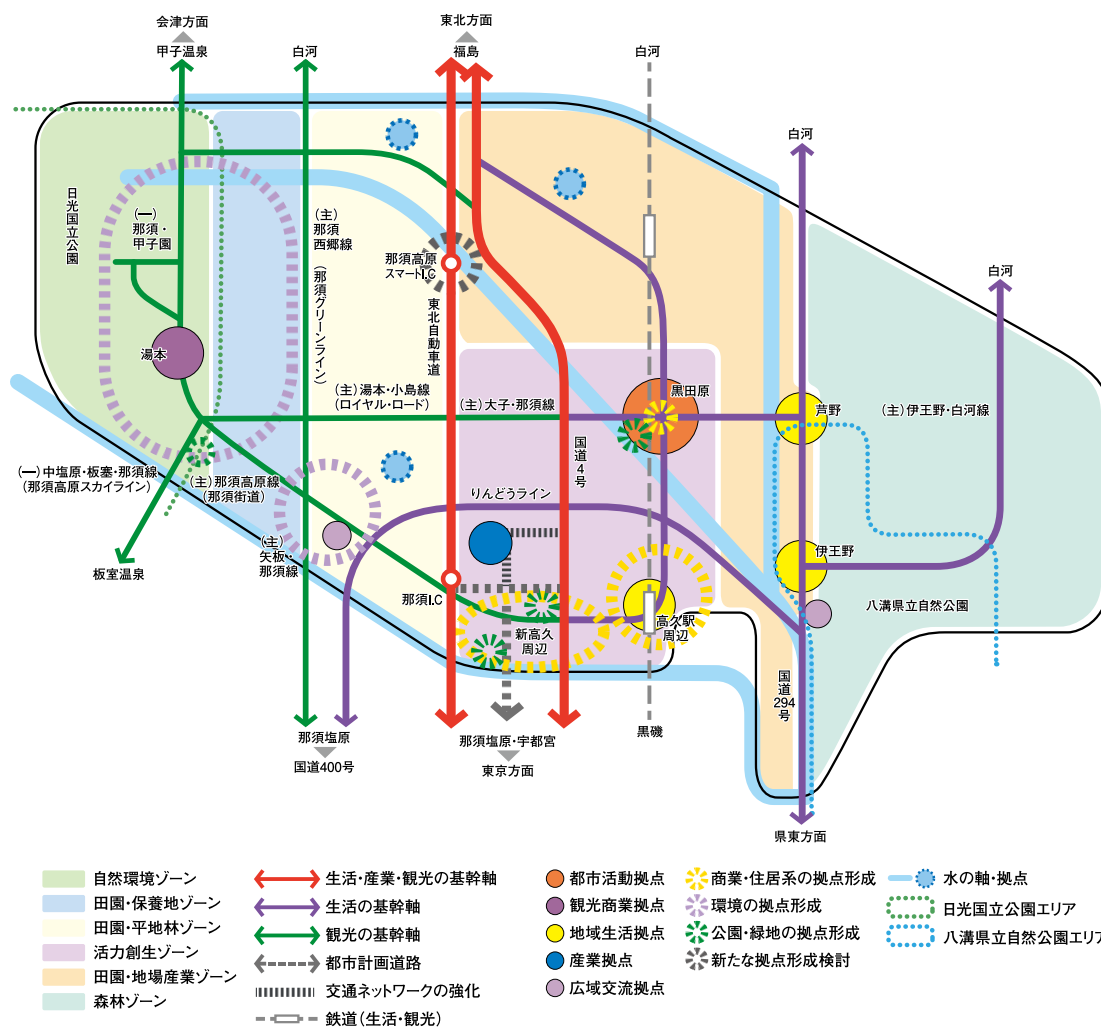
### [目標人口の設定]

将来像の実現を目指し、各施策を推進することにより令和17年度における目標人口を21,000人と設定します。



# 3 まちづくりの骨格

[将来都市構造図]



## 【ゾーン】

### 1) 自然環境ゾーン

日光国立公園を中心とした良好な自然環境のゾーンで、自然公園法（特別地域等）の規制に基づき優れた自然環境の保全を図ります。

湯本地区には下水道が整備され、用途地域（及び準防火地域）や都市計画道路が計画決定されており、これらの都市計画事業の円滑な推進を図るとともに、景観形成にも配慮した質の高い観光地としての空間形成を図ります。

### 2) 田園・保養地ゾーン

森林・平地林、営農地（特に酪農）、集落による那須町らしい田園地帯の環境と調和した良好な保養地としての空間形成を図ります。

保養地については、定住人口の受皿としての居住環境形成を図ります。

### 3) 田園・平地林ゾーン

田園地帯に別荘地や観光・レクリエーション・レジャーなどの開発がみられるゾーンで、特に良好な平地林が特徴となっています。自然と調和した観光拠点としての空間形成を図るとともに、自然に触れ合える場として、環境保全に十分配慮しつつ、有効活用を図ります。

農業生産基盤や畜産環境の整備により農業・酪農の産業振興を図ります。

### 4) 活力創生ゾーン

黒田原地区、新高久周辺地区、菱喰内工業団地、高久駅周辺地区などの拠点市街地・主要集落が一般国道4号を中心に集積し、また那須塩原市の市街地にも隣接しているなど、優れた立地特性を有するゾーンであるため、各地区の機能や立地特性を活かした定住促進、産業振興など、今後の本町のまちづくりをけん引する活力を創生する機能の充実を図るものとします。

また、本ゾーンに近接する那須高原スマートIC周辺地区においては、交通利便性を活かした新たな拠点形成のため、未利用地を活用した有効な土地利用について研究を進めます。

### 5) 田園・地場産業ゾーン

水田や森林に囲まれた農村集落による那須町らしい田園地帯が形成され、こうしたふるさとの風景や良好な農業生産基盤を維持しつつ、地場産業である林業・鉱工業の振興を図ります。

### 6) 森林ゾーン

八溝県立自然公園を中心とした良好な自然環境を有するゾーンで、本町固有の自然環境の保全を図ります。

一方で、農業・林業の生産基盤ともなっており、環境保全とのバランスに配慮しつつ、農業・林業振興のための取組を進めます。

## 【基幹軸】

### 1) 生活・産業・観光の基幹軸

東北縦貫自動車道・一般国道4号は、本町における生活・産業・観光の各種活動における大動脈として機能していることから、町内の各地域・各拠点に広域交通や交流人口・定住人口等を誘導する軸として有効活用を図ります。

東北縦貫自動車道の6車線化や一般国道4号の4車線化などを促進するとともに、町内交通ネットワークにおける基幹軸と位置付け、接続する路線の良好なアクセス確保を図ります。

### 2) 生活の基幹軸

一般国道4号以东の県道及び北那須広域農道(通称:りんどうライン)は、都市活動拠点である黒田原地区を中心に拠点・集落、鉄道駅などを連携する主に生活交通の基幹軸として位置付けます。

### 3) 観光の基幹軸

一般国道4号以西の県道等を主に那須高原地区における観光の基幹軸として位置付けます。

# 4 まちづくりの基本目標

## (1) 施策の体系



○町の将来像「みどり輝き 活気と笑顔あふれ とともに未来を創るまち 那須」を実現するために、持続可能なまちづくりの理念として、「SDGs」の考え方を念頭に以下の6つの基本目標を定めます。

**基本目標 1** 自然とともに暮らすまち

**基本目標 2** 子育てと健康・福祉にやさしいまち

**基本目標 3** 産業振興により活力あふれるまち

**基本目標 4** 安全で安心して暮らせるまち

**基本目標 5** 教育・文化・スポーツの充実したまち

**基本目標 6** 協働と行財政改革をすすめるまち

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



※SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のためのアジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の誰一人として取り残さないことを誓っています。SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル(普遍的)なものであり、日本としても積極的に取り組んでいます。

## (2) 基本目標の内容



### 基本目標 1

### 自然とともに暮らすまち (自然、環境、住環境、社会基盤、移住・定住分野)

自然と共生し、環境負荷を抑えながら持続可能なまちづくりを推進します。美しい自然環境を守りながら、快適な住環境の整備や、移住・定住・二地域居住を促進し、当面続くことが見込まれる人口減少の影響をできる限り抑制します。

若い世代が快適に暮らし続けることのできる環境づくりを進めるため、住空間や商業空間の充実、地域公共交通の確保、道路・公園などの生活基盤の整備を行い、住んでみたい、暮らし続けたいと感じるまちづくりを進めます。

また、町外の方々にも本町がもう一つのふるさととして選ばれるような魅力ある地域づくりによって関係人口の創出を目指します。

#### 基本目標の実現に向けた基本施策

- 1 自然環境の保全と適正な利活用
- 2 良好な生活環境の維持・形成
- 3 都市基盤の維持・整備
- 4 秩序ある土地利用の推進
- 5 全世代の定住化促進



### 基本目標 2

### 子育てと健康・福祉にやさしいまち (子育て支援、健康、福祉分野)

次代を担う若者の結婚や出産、子育て、仕事と家庭の両立に関する希望がかなえられるよう、子育て環境の充実を図ります。

子育て支援や福祉サービスを充実させ、全ての世代が安心して暮らせるまちを目指します。行政・地域・家庭が協力し、子どもの成長を支え、高齢者や障がい者が自分らしく暮らせる環境を整えます。

福祉団体やボランティアの育成など、地域の福祉力を向上させ、高齢者等の自立支援や介護・介護予防の取組を進めます。

健康で安心して暮らせる社会を目指し、健康づくりを促進し、健診受診率向上や予防・食育・運動の取組を進めます。

#### 基本目標の実現に向けた基本施策

- 1 子ども・子育て支援環境の充実
- 2 就学前教育の充実
- 3 地域福祉力の促進
- 4 高齢者・障がい者福祉の充実
- 5 健康づくりの促進と医療体制の充実



## 基本目標 3

産業振興により活力あふれるまち  
(観光、農林業、商鉱工業分野)

観光と農林畜産業を核に、地域資源や産業の特色を活かした産業振興を推進します。農産物のブランド化や企業誘致を強化し、地域経済の活性化を図ります。

人口減少や高齢化が進展する中、地域産業を支える多様な人材の育成・確保に努めるとともに、町内での就労や起業を推進し働きやすいまちづくりを進めます。

地域の特色や魅力向上を図り、多くのひとに選ばれるリゾートのまちを目指します。

## 基本目標の実現に向けた基本施策

- 1 国内外からの観光誘客の促進
- 2 農林業の推進
- 3 商鉱工業の振興



## 基本目標 4

安全で安心して暮らせるまち  
(防災、防犯、交通安全分野)

災害や犯罪から町民を守り、安全で安心できるまちづくりを推進します。防災・減災対策を強化し、地域の防犯意識を高める取組を進めます。

自然災害に備えた防災施設の整備や、地域での助け合いの構築など、ハード・ソフト両面での防災施策の充実を図り、自助・共助・公助の確立を進めます。

交通安全の推進と、地域ぐるみの防犯体制の強化を図るとともに、健全な消費生活や消費者問題への対策支援などの推進により安全・安心のまちづくりを進めます。

## 基本目標の実現に向けた基本施策

- 1 防災・減災対策の推進
- 2 交通安全・防犯対策の推進
- 3 消費者行政の推進



## 基本目標 5

教育・文化・スポーツの充実したまち  
(学校教育、生涯学習、文化、スポーツ分野)

ICT教育などデジタル技術を活用した教育を推進するとともに、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちの成長を支える教育環境を整えます。

生涯学習やスポーツ・文化活動を充実させ、歴史遺産や伝統文化の保護・継承に取り組み、町民の豊かな生活の実現を目指します。

那須町の将来を担う人材育成のため、様々な学習機会の場を整え、人づくりを進めます。

## 基本目標の実現に向けた基本施策

- 1 学校教育環境の充実
- 2 地域文化活動の推進
- 3 生涯スポーツの推進
- 4 人づくりの推進



## 基本目標 6

### 協働と行財政改革をすすめるまち

(協働、コミュニティ活動、DX、行政サービス、行政組織分野)

町民と行政による協働のまちづくり体制の確立を図ります。協働のまちづくりのためには地域コミュニティの活性化が不可欠です。高齢化や人口減少により希薄化した地域コミュニティのあり方を見直し、町民が地域の特色に応じた自立・共助のまちづくりを進めます。

デジタル技術を活用し、行政サービスの効率化と町民の利便性向上を図ります。

男女共同参画をより一層進めるとともに、ワーク・ライフバランスの推進や人権尊重のまちづくりを進め、誰もがあらゆる分野で活躍できる住みやすいまちを目指します。

町民と行政の協力により、効率的な行政運営と財政健全化を進め、持続可能なまちづくりを目指します。広域的な課題には他自治体と連携し、定住自立圏などを活用して対応します。

### 基本目標の実現に向けた基本施策

- 1 協働のまちづくりの推進
- 2 行政サービスの効率化と向上
- 3 適切な行財政運営
- 4 広域行政の推進



### (3) 施策の体系図

